

展示資料



粉の圧痕のついた土器片と圧痕のレプリカ
都遺跡

前戸内遺跡

円田盆地で米づくりが始まった頃の土器

都遺跡・前戸内遺跡 弥生時代中期(約2,000年前)



小型杯



甑



古墳時代の炊飯具

弥生時代には、水に浸した米を直接火にかけて炊いて雑炊や粥のようにして食べていたようです。古墳時代になると甑という新しい道具が登場し、水蒸気で米を蒸すという調理法が加わりました。

安定して集落が営まれた古墳時代の土器

六角遺跡 古墳時代前期(約1,700年前)